



深澤晟雄資料館は9月末の完成をめざして工事が急ピッチで進められています。写真は2階前面の外壁張替え中で、旧看護婦住宅が資料館らしい趣に姿を変えつつあります。

## 深澤晟雄の生涯を映画化

「いのちの里」(仮) 来年6月公開

深澤晟雄の生涯を「いのちの里」(仮題)という劇映画にして全国上映しようという計画が進められています。

東京の映画会社インディーズに事務局を置く「いのちの里」製作委員会によりまずと、来年2月に撮影を開始し、同5月に完成、翌6月から全国一斉自主上映方式で公開されます。来年6月から2年間の上映目標は、全国1千カ所以上、100万人の動員目標を立てています。

監督は日本国憲法誕生の真相を描いた劇映画「日本の青空」(全国上映中)の大澤豊監督が当たります。自主製作による映画づくりで、すでにシナリオも完成し、この10月から100万円の制作協力券を発行して2億円の予算で製作が進められます。

## 胸像の石膏型を寄託

資料館の中心的存在に



また、深澤晟雄のトレードマークだった国民服も数点見つかった。石膏型の像とともに氏の面影を偲ばせるに十分な資料が整いました。現在、展示準備に追われています。

無償で衣服の手入れ

川尻クリーニングの善意

深澤村長が愛用した国民服などの衣類は、クリーニングすると生地を傷める恐れがあり、アイロン掛け程度にすることにしました。

とはいえ専門家の手が必要で、川尻クリーニングに相談したところ、当面の展示用数点の手入れを無償でやってくれるとのこと。その善意に感謝して紹介します。

昭和41年に沢内病院前に建立された深澤晟雄の胸像は当時、盛岡短期大学教授の吉田保正氏の作品といわれています。その胸像制作の石膏型(写真)が深澤家で保存されていましたが、多くの遺品とともに石膏型も資料館に寄せられました。

石膏型は彫刻・工芸品などの型物を制作する際に原型とする石膏製の型で、胸像と等身大の原型だけに資料館の主とも言うべき存在になります。

# 「人間苦をもたらす最大のものは戦争だ」



戦中戦後の村を支えた女性たちの  
辛苦の歴史に思いをはせて・・・

(写真/映画「自分たちで生命を守った村」より)

## 深澤語録を訪ねて

昭和32年の秋、戦没者追悼式の挨拶の一部である。挨拶はこのあと、原水爆競争に血道をあげている世界の現実を嘆き、戦没者の霊に永遠の平和のための庇護と導きをねがい、平和への決意を述べている。反戦平和の戦後精神の風化に対する抵抗の心が秘められているようである。

本日、当村戦没者の合同追悼式に当たり、不肖その席を得まして、親しく各位の精霊に追慕、哀惜の誠を捧げますことは、私の光榮とするところであります。

遠く西南の役以来、尊い犠牲者は181柱を数えるのでありますが、そのご子孫とご遺族の、痛恨やるせないまなざしの中にこの辞を捧げますことは、万感胸を裂くの思いが致すのであります。

かえりみますれば、各位はみなその時代は異なるとは申せ、いわゆる錦の御旗を守って骨を碎き、祖国と子孫の悠久を信じて天皇陛下万歳を絶叫して肉弾と散った戦士のみであります。そして、日本の軍閥の犠牲者となったのも各位であります。

このことに思いをはせながら、私たちがいま、平和を念願する民主国家の一員として、無量の感慨をもつていわゆる英霊の御前にひ

## 上映会のご案内

「いのちの作法」9月中旬から10月上旬の一般対象上映会のご案内です。お近くの知人友人に知らせてあげましょう。料金は全国共通で、前売り千円、当日千二百円、小中生は当日千五百円。

▼9月13日 13時30分、18時30分／盛岡市ふれあいランド若手  
▼9月13日 13時30分／奈良市生涯学習センター  
▼9月28日 14時／一関市浜民小学校屋内体育場  
▼10月4日 14時30分／岐阜市東部コミュニティセンター

ざまずいているのであります。そして私たちは、はげしく戦争を呪うのであります。人を殺して得られる幸福など断じてありえないことを、こんどこそ私たちは知っているからであります。だから、私たちは若い未亡人が生活ゆえの転落の不倫を犯したと致しましても、戦争を憎むかわりにどうして彼女を憎みえましよう。一人息子を失った老人が、一飯の食物を盗んだところで、不徳な敗戦成金をつくった戦争をこそ呪うべきであります。最大の人間苦をもたらす最大のものが戦争であ

ることを、かくして私たちは知りえたのであります。さればこそ各位の犠牲の尊さに私たちは敬虔の心と感謝の祈りを捧げているのであって、けっして天皇陛下万歳の尊さに泣くものではありません。下万歳の尊さに泣くことはありません。地獲得の尊さに頭をたれているではありません。80年の長い年月、しかもいれかわりたちかわり数多くの生命をかけて、いかに戦争の呪うべきものであるかを、はらわたをえぐるが如くにお教え下さったその犠牲の尊さに手を合わせているのであります。